



QRコード
登録お願
いします。



自分から挨拶できる子に・・・

神崎市にある「四か条の誓い」の二つめに「礼儀を重んじます」という言葉がありますが、その最たるものは「自分から挨拶」することと、とらえています。挨拶は、自分から進んでするのと言われてするのでは相手に与える印象が大きく違います。

教育の最終目標は自立とよく言われますが、子供達にどのような生活習慣を身に付けさせたいですかと問われたら、迷い無く「自分から挨拶ができること」と答えます。挨拶ができるというのは、大げさかもしれませんが、子供達が自分の心をコントロールする力や人生を前向きに切り拓いていく力にも通じるように感じています。また、相手を大切にしていますというメッセージを送ることになり、良好な人間関係を築くことができます。

小学生のうちに、

あ 明るい声で
い いつも相手より
さ 先に挨拶することを
つ 続ける

4つの中では「先に」が最も大切です。幸せな人生のためにも自分から挨拶できる子にしていきたいです。

ことを習慣としてできるようになってほしいと思いながら、毎日校門に立っています。挨拶はしなくてよいものではありません。挨拶は誰もが身に付けるべき生活習慣です。挨拶について今一度ご家庭でも話題にさせていただいたら幸いです。



のぐち設計様から追加のマスクをいただきました。今回は6年生に一枚ずつ配布しています。この場を借りてお礼申し上げます！！

資源物回収にご協力いただき有り難うございました！！

地区役員様には文書配布から当日運搬までお世話をしていただきました。当日は、父親委員様及び執行部の皆様も協力してくださり、無事に終えることが出来ました。今回は子供達もお手伝いをしてくれました。

ステイホームのせいか、いつもよりアルミ缶が多かったようで、PTA 資金源として大変有り難いことです。



4年生の総合的な学習の時間に毎年尾崎焼きについて学習しますが、今年度は、事前学習を取り入れ、高柳先生と城島先生に講義をしていただきました。

尾崎焼きの歴史や意義、作り方などをまとめて話していただき、その後質問タイムに移りました。子供達の積極的な学びにお二人とも大変感心されていました。

本校は、今年度から ESD(持続可能な社会の担い手をつくる教育)の研究指定校となっており、SDGsの17のゴールを意識した学習を行います。尾崎焼きは「産業と技術革新の基礎をつくろう」にあたります。

教科学習と異なり、自分で立てたためあてについて探究していくという流れになります。子供達は、今回の講義で焼き物作りへの意欲がわいただけでなく、知りたいことや調べたいことが出てきたようで、自分の課題づくりにつながったようです。



学校評議員会を開催しました。

今年度の委員の方を紹介します。

山口義文様(神崎市議会議員)

田代高規様(公民館長)

喜多秀哉様(神崎市役所 住職)

大坪小百合様(西郷保育園長)

宮地祥子様(読み聞かせボランティア)

授業参観をしていただきましたが、全体的に落ち着いた雰囲気があることをまず褒めてくださいました。協議では、臨時休校における授業時数確保やオンライン配信、校内研究等が話題になりました。

6月の全校朝会でも礼儀の基本である挨拶のことを話したところ、6年生の西郷タイムスに自分の考えを綴ってくれました。ここにそれぞれの子供達の文章の一部ですがを紹介します。

【6年1組】

- ・自分が言われて嬉しい挨拶をたくさんの人にして西郷小の挨拶レベルアップを目指していきたい。(市丸)
- ・自分から挨拶運動に参加しようかなと思います。(斎藤)
- ・6年生だから下級生のお手本として見られるからがんばっています。(山下)
- ・立ち止まって挨拶をする。(村上)
- ・先生がいるときだけでなくなくても大きな声で明るく挨拶を心がけてほしい。(永田)
- ・自分は副班長なので挨拶をがんばりたい。(溝口)
- ・「人の目を見て」を付け加えたいと思います。(田中)
- ・班長なので校門では下級生があこがれるような大きくて元気な声で挨拶ができるようにがんばる。(田中)
- ・僕は班長になって挨拶では相手の人より先に挨拶することを大切にしています。(陣内)
- ・自分が大きな声で出すようになって挨拶が少し大きくなってよかったです。(江口)
- ・挨拶をされた人の気持ちや挨拶をした時の気持ちはすごくよいので、その挨拶のすばらしさを広めていきたい。(増田)
- ・私は挨拶をいつも自分からできるように心がけています。(井手)
- ・自分から地域の方や校門の前での挨拶を気持ちよくできるようになろうと思いました。(森)
- ・大きな声で元気よく相手の目を見て笑顔で挨拶をして挨拶レベルアップを目指していきたいです。(山口)
- ・私は今挨拶を5年生の時よりももっと大きな声でさせるようがんばっています。(牟田)
- ・挨拶は相手と自分の心を大きく豊かに動かしてくれます。(大坪)
- ・ぼくは挨拶をレベルアップさせるために毎日大きな声を出し、元気よく挨拶ができたらいいなと思い毎日校門でがんばっています。(三好)
- ・大きな声で挨拶をして通りかかった人に止まっておじぎして挨拶をしようと思いました。(西村)
- ・西郷小の挨拶をレベルアップさせるには、一人一人が挨拶を意識しないといけないと思いました。(松永)
- ・明日から元気に挨拶ができればいいなと思いました。(貞島)
- ・相手の目を見て元気な声で明るくしたら挨拶をレベルアップできると思います。(古川)
- ・ぼくは登校中の挨拶を今日からできるだけしていきたいです。(金山)



【6年2組】

- ・挨拶をする時は勇気もち、相手が愉快になれるくらいに大きな声であいさつを頑張る(岡木)
- ・挨拶がよくなるためにできることは元気に挨拶することと大きな声であいさつをすることです。(本田)
- ・一日を楽しく過ごすためには西郷小みんなの明るい挨拶が必要です！(石井)
- ・おはようございますというこの言葉一つで相手を元気にすることができる。(糸山)
- ・相手のためと思って挨拶をししたら自然と大きくなる。相手がいい気持ちになると思って挨拶する。(岩崎)
- ・挨拶をしたら相手も自分自身も気持ちよくなります。(内山)
- ・西郷小が挨拶があふれている学校にしたい。挨拶が一番県内でいいのは西郷小と言えるようにしたい。(江口)
- ・大きい声での挨拶の方が気持ちがいいです。ですが大きい挨拶でも気持ちが入っていないと挨拶とは言いません。(川頭)
- ・最上級生がお手本になれば少しずつ変わっていく気がします(北崎)
- ・大きな声であいさつをする人も多けれど、挨拶をしていない人もいるのでみんなが大きな声でだれにでも挨拶ができるようになります。(久米)
- ・相手より先に挨拶ができるようになりたいです。(嶋)
- ・私たちはいつも挨拶をしています。でもそれをさらによくするために自分達にできることを考えました。(陣内)
- ・現状は挨拶が元気にできていない。だからその現状を改善していきたい。(末次)
- ・私は挨拶がよくなるためには、笑顔で挨拶するのはいいことと自信をもつことだと思う。(末次)
- ・今から大きな声を出そうと思っても出せないでふだんから声を出して生活していきたい。(田代)
- ・元気な挨拶をされるといい気持ちになって今日もがんばろうという気持ちになるからです。(田中)
- ・毎朝、通りかかった人、近所の人たちに自分から挨拶をすると思います。(馬場)
- ・挨拶を意識して毎日大きな声を出していきたいと思います(馬場崎)
- ・全校みんなでもっと明るい学校にしていきたいです(増田)
- ・自分からあいさつをしたり、朝の放送でも取り入れたらよいと思いました(森園)
- ・家でもどういふうに言うか練習していったら少しずつ大きな声で元気よく挨拶ができるようになりました。(渡辺)

